

## 6.4 経済特別区候補地

### (1) 候補地

現地調査およびラオス政府との協議により、下記の4ヶ所を経済特別区開発候補地として取り上げた。（西から東の順に下記示す。候補地の位置を図 6.2 に示す）。

- サイト A : 新メコン橋アクセス道路北側
- サイト B : セノ近辺の倉庫
- サイト C : サイブリ工業団地開発計画
- サイト D : デンサバン自由貿易区開発計画

#### 1) 新メコン橋アクセス道路北側

現地調査を通じて、新メコン橋国境施設の近辺に、保税倉庫が計画されていることが明らかとなった。住宅地に使用されている新メコン橋アクセス道路の南側を避け、アクセス道路北側を開発候補地とした。

新メコン橋アクセス道路の北側 300ha 以上の敷地。

#### 2) セノ近辺の倉庫

県政府との協議を通して、9号線と13号線の交差点付近（セノ近辺）の倉庫に使用されている敷地が候補地として提案された。

候補地は、9号線と13号線の交差点から西方へ1km、カンタブリ地区から28kmに立地している。面積は6haであるが、後背地180haの開発も可能である。

本調査に先立ち、ラオス関係機関は、サバナケット県における工業団地開発計画および自由貿易区開発計画（FTZ）を立案しており、SEZ 候補地として提案された。

#### 3) サイブリ工業団地開発計画

工業・手工芸省（MOIH）は、カンタブリ地区から25km圏内のサイブリに工業団地の開発計画（800ha）を策定した。

#### 4) デンサバン自由貿易区開発計画

商業・観光省（MOCT）は、ヴェトナム国境に位置するデンサバンに自由貿易区開発計画を策定した。

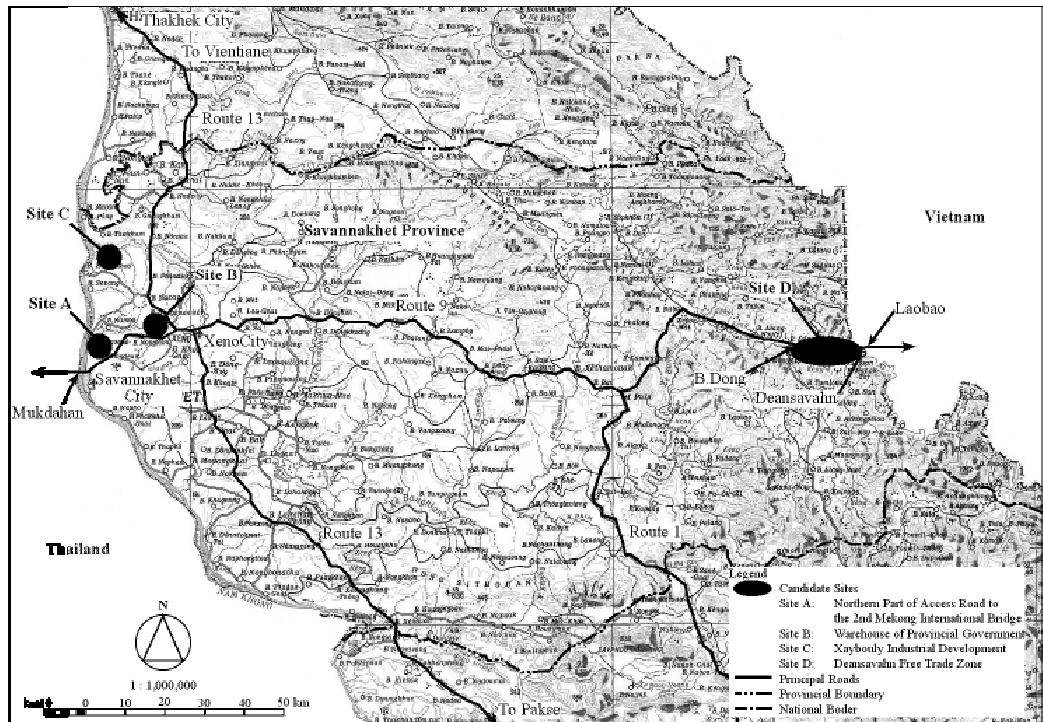


図 6.2 SEZ 候補地の立地図

(2) 候補地の評価

1) 評価方法

SEZ 開発を効率良く実施するために、候補地のポテンシャルを評価した。

各 SEZ 機能が必要とする条件および候補地の特性を 3 段階に評価した。両評価ポイントを乗じ、乗じた値が大きいものを開発ポテンシャルの高い候補地とした。評価方法の流れを図 6.3 に示す。

条件は、以下の社会的および技術的項目を含めた。

社会的条件 : ①人口、②経済活動

技術的条件 : ①アクセス性、②土質、③地形、④関連施設（電力、給水、通信）、⑤環境影響

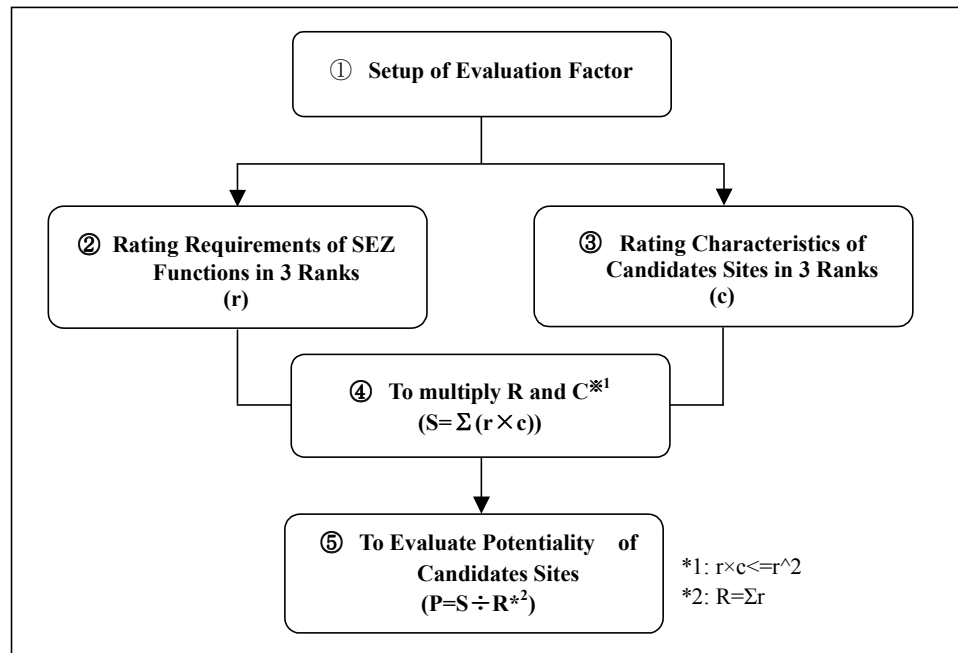


図 6.3 候補地の開発ポテンシャルの評価方法

## 2) SEZ 必要条件

SEZ 機能別に必要な条件を社会的および技術的に 3 段階評価した。

3 段階評価を通して、人口および経済活動の両社会的条件が共通して必要度が高い結果となった。技術的条件においては、アクセス性および通信が必要度の高い条件となった。

機能別では、製造業が全条件を必要としており、物流および商業では、社会的 2 条件およびアクセス性と通信の技術的条件の必要度が高い結果となった。

また、アメニティおよび住宅では、必要度の高い条件はとくに無く、人口およびアクセス性がランク 3 (Required) に評価されている。また、サポーティングでは、経済活動、アクセス性および通信の必要度が高い。

表 6.1 SEZ 機能別必要条件

Functions Requirements	Manufacturing	Logistics (C.T., B.W.)	Commerce (DFS, W.S.)	Amenity (Hotel, G.C.)	Residential	Supporting (M.C., A.C.)
Social Factor						
Population	5	3	3	3	3	1
Economic act.	5	5	5	1	1	5
Technical Factor						
Accessibility	3	5	5	3	3	5
Geology	5	1	1	1	1	1
Topography	3	1	1	1	1	1
Electricity	5	1	1	1	1	1
Water Supply	5	1	1	1	1	1
Telecomm.	3	3	3	1	1	5
(total points:R)	(34)	(20)	(20)	(12)	(12)	(20)
Environ. Impact	Large	Neutral	Neutral	Neutral	Neutral	Neutral

註: “5” –highly required, “3”-required, and “1”-neutral

C.T.: Cargo Terminal, B.W.: Bonded Warehouse, DFS: Duty Free Shop, G.C.: Golf Course, M.C.: Marketing Center, A.C.: Administration Center

### 3) 候補地の特性評価

候補地の特性を評価した（表 6.2 参照）。評価の概要を以下に記述する。

- i) アクセス性は、ラオスの隣国で最大の経済力を持つタイからのアクセス性を基準とした。
- ii) 具体的な土質データはサイト A のみであり、他の候補地については中間の位置付けとした。
- iii) 県内の電力は、ナムテン 2 号発電所が操業を開始する 2006 年までは不足気味である。全候補地の評価を中間値とした。
- iv) サイト A およびサイト C は豊富な水源としてメコン川に近接しているため、比較的高い値とした。
- v) 通信施設はムクダハンから新メコン橋経由での光ファイバーの整備されれば需要を満たすことが出来る。

表 6.2 候補地の特性

Functions Requirements	Conditions of Sites				Evaluation of Sites			
	Site A	Site B	Site C	Site D	Site A	Site B	Site C	Site D
<b>Social Factor</b>								
Population	97,328	68,759	47,012	38,246	5	3	1	1
Economic act.	The largest city in the province	2 <sup>nd</sup> largest city in the province	None	Small town	5	3	1	1
<b>Technical Factor</b>								
Accessibility	0 km	25 km (Junction of Route 9 & Route 13)	45 km	260 km	5	5	1	3
Geology	N-value 10 – 30	No data	No data	No data	5	3	3	3
Topography	7 % slope	Undulating land	Undulating land	Flat land along Xepon river	3	1	1	3
Electricity	Insufficient capacity of electric generation				3	3	3	3
Water Supply	Mekong river	Ground water	Mekong river	Xepon river	3	1	3	3
Telecomm.	Insufficient capacity of 34 Mbps microwave				3	3	1	1
Environ. Impact	Housing area around the site	District school in front of the site	Deep forest	Deep forest	Large	Neutral	Neutral	Neutral

註: The number of population is the district population. Site A: Khanthabuly, Site B: Outhoumphone, Site C: Xayboully, and Site D: Xepon

#### 4) 候補地の評価

前述した SEZ 機能毎の必要条件と候補地ごとの特性値を乗じた結果を表 6.3 に示す。

サイト A は最も高いポテンシャルを示している。製造業、物流、商業およびサポートリングにおいて軒並み 3.0 を超えており、特に工業では 4.0 を超えている。

サイト B は二番目に高いポテンシャルを示している。物流および商業は 3.0 を超えている。

サイト C およびサイト D では、3.0 を超える SEZ 機能は無く、両サイトにおいて製造業が最大の 2.2 を示した。

アメニティおよび住宅は何れのサイトにおいても 3.0 を超えていない。サイト A およびサイト B が比較的高い値である。

上述の通り、サイト C およびサイト D は明らかにサイト A およびサイト B よりもポテンシャルが低い結果となった。

サイト C の優位な点は、未開発の広い敷地を確保することができ、さらにメコン川からの豊富な水源を確保できることである。

また、サイト D には既に 2 つの免税店が開店している。9 号線が整備された後、物流および人の流れは増加すると予想される。その際、サイト D の自由貿易区としての可能性は増すであろう。

これらの状況からサイト C およびサイト D を本 SEZ の候補地から除き、サイト A およびサイト B を候補地とする。

**表 6.3 候補地ごとの SEZ 開発ポテンシャル**

Sites Functions	Multiplied Values				Potentiality Values			
	Site A	Site B	Site C	Site D	Site A	Site B	Site C	Site D
Manufacturing	142	86	74	76	4.2	2.5	2.2	2.2
Logistics	72	62	20	30	3.6	3.1	1.0	1.5
Commerce	72	62	20	30	3.6	3.1	1.0	1.5
Tourism	24	24	12	18	2.0	2.0	1.0	1.5
Residential	24	24	12	18	2.0	2.0	1.0	1.5
Supporting	70	60	20	30	3.5	3.0	1.0	1.5

註: Colored frame scores more than 3.0.

## 6.5 開発シナリオ

### (1) 代替案の策定

前節において、サイト A およびサイト B の SEZ としての開発ポテンシャルが高い結果を得た。本節では、サイト A およびサイト B を中心とした開発シナリオの代替案 3 案を設定し、最適案を選定する。

代替案 A : 全 SEZ 機能をサイト A に集約する。

代替案 B1 : サイト A およびサイト B において SEZ を開発する。SEZ 圏は、9 号線沿いに両側 2.5km とし、新メコン橋とメコン川岸との交差点から 9 号線と 13 号線の交差点までの範囲とする。

代替案 B2 : サイト A およびサイト B において SEZ を開発する。SEZ 圏は、新メコン橋を中心として 30km 圏内とする。